



宮崎県ひきこもり支援委託事業

2025年度ひきこもり回復プログラム

8月17日(日) 宮崎市



少人数のグループを作って語り合おう!! ひきこもり・親・兄弟姉妹の方々

臨床心理士さん+兄弟姉妹、親、当事者、支援者

7月のオープンダイアログはいかがでしたか。お話しの中に「結論を出さない」という説明がありましたが、なんとなくふわっと終了した研修会に違和感を持った方もいたようです。私たちは、何かと結論を求めようとするものですね。竹内先生を中心にした、この会全体が

オープンダイアログのように感じました。まだまだ発展しそうなオープンダイアログです。

8月は、みんなで集まってリフレクティング（対話の手法の一つ）の形を実践してみようと思います。久保先生にお願いして専門家の先生方に参加していただくことになりました。皆様どうぞこぞって、ご参加ください。



■ **2025年 8月17日(日)** 13時半～16時半

《会 場》 宮崎市民プラザ 4階 中会議室

《対 象》 宮崎県柿の会会員、親兄弟姉妹、当事者、支援者、
臨床心理士の先生方

●お問い合わせ先 宮崎県柿の会事務局 090-9603-8780

今後の例会の予定

2025年度

9月14日(日) 親の介護と亡く
なった時の対応その他

10月12日(日) 精神疾患の方へ
の家族の対応について

■2025年7月13日(日) 例会の報告
～オープンダイアログから得られるヒント～

演題：人と人が もっと話せるようになるには！

講師 竹内冬彦 竹内桂子 さん

《はじめに》

この日は宮崎市内で大きなイベントがある中、60人余りの方の参加がありました。

初めに、宮崎県福祉保健部の障がい福祉課の木下朋子副主幹よりご挨拶をいただきました。

ご挨拶の中で、ひきこもりサポーターの皆さんに対して、ひきこもりや不登校が増えている今、今後、大きな期待を寄せている旨のお話がありました。

その後、講師の竹内夫妻の自己紹介がありました。竹内ご夫妻は現在KHJ「なでしこの会」で「オープンダイアログ・対話の勉強会」を实践され、相談会を開催されています。

オープンダイアログの主な特徴

オープンダイアログとは、フィンランド発祥の精神医療における対話型の一つで、患者、家族、医療機関関係者が共に問題を話し合い、解決を目指すものです。従来の精神医療とは異なり、患者を隔離するのではなく、開かれた対話を通じて、患者の回復を支援します。

開かれた対話： 様々な関係者があつまり、皆で対等な立場で話し合う場面を設ける。

チームでの対応： 専門家がチームを組み、当事者やその家族などと対話をおこないます。

本人のいない場所で、その人の話をしない： 参加者は、相手のいない場所でその人の話をしないことを原則とする。

リフレクティング： 相手の言葉を丁寧に聴き、それを繰り返したり、言い換えたりすることで、相手に「聞いている」ということを伝え、安心感を与えるコミュニケーション方法です。

薬物療法に頼らない： この治療法が可能かどうか、個々の状態にあった治療法は何かを専門医と十分に相談することは重要です。

- ◆参考ビデオ(無料) NHK厚生文化事業団の福祉ライブラリー
ビデオシリーズ 「こころをケアする対話・オープンダイアログ DVD2枚組」
◆ダウンロードできます。
- ◆講演会でお話しの出た方： 矢原隆行教授（熊本大学 大学院人文社会科学部 教授）





★都城支部だより

■令和7年8月の「都城例会」
お休みです。

■詳細は堀江さんまで 090-4581-5152

宮崎県ひきこもり地域支援センター

(宮崎県総合保健センター 4階精神保健福祉センター内)

〒880-0032 宮崎市霧島1丁目1-2

専門の相談員が常駐し、親身になって相談に応じていた
だいています。楠の会会員も多数相談に訪れています。み
なさんも、一度足を運んでみられてはいかがでしょうか。

■電話相談

0985-27-8133

0985-44-2411

※受付時間 8:30~17:15

■来所相談 電話相談の後、予約して来所。

■訪問支援 本人の状況や気持ちに合わせます。

■家族教室開催 各地保健所

一度登録すれば、親に何かあった時、必ず相
談に乗ってもらえます。勇気を出して相談に
行きましょう。秘密は厳守されます。

★日南支部だより

■令和7年8月の「日南例会」

《日時》 8月16日(土) 13:30~15:30

《会場》 日南生涯学習センターまなびピア

■詳細は田中さんまで

電話 090-5949-8843

◎結の会(旧、おしゃべり会)→8月23日第4(土)

13:30~15:30

(まなびピア和室)

■結の会担当 川野 080-5417-3760

★小林支部だより

■令和7年8月の「小林例会」

《日時》 8月17日(日)(第3日曜)

13:30~15:30

《会場》 小林市福祉センター別館

◆問い合わせ 小林市社協 大学さん

電話 0984-23-3466

宮崎県楠の会【若者の居場所】のお知らせ

宮崎県楠の会では若者のための居場所

『つなぐ』を開設しています。

気軽においでください。

◆対 象 ひきこもり、ニート、発達障がい、
精神 障がい等生きづらさを感じてい
る当事者、経験者のみなさん。

◆日 時 8月16日(土) pm2時~5時

◆会 場 南宮崎駅前アーケード内
エデュコラボ
(宮崎市大淀4丁目5-25)

さがりふじ
◆担当者 下り藤さん
電話 090-5385-7651

◆ オープンダイアログの対話実践の実践度に関わる十二の基本要素

1. 二人(あるいはそれ以上)のセラピストがチームミーティングにいること
2. 家族と社会ネットワークが参加すること
3. 開かれた質問を使うこと
4. クライアントの発言に応答すること
5. 今この瞬間を重視すること
6. 多様な観点を明るみに出すこと
7. 対話のなかで関係が強調される点を使うこと
8. 問題発言や問題行動に淡々と応答し、その意味に注意深くあること
9. 症状ではなく、クライアント自身の言葉と物語を重視すること
10. 治療ミーティング内で専門職同士の会話(リフレクション)を行うこと
11. 透明であること
12. 不確かさに耐えること

◆ 振り返りのためのチェックリスト

このチェックリストは、対話の振り返りやフィードバックをしやすくするためのツールです。クライアントが使う場合は、ミーティングに対して不満を感じたときに、治療チームの側の問題を発見し、指摘しやすくするために使用してください。

- 治療チームは5人以上でしたか？
- 前回と同じメンバーでしたか？
- 前回のミーティングからの間隔は適切でしたか？
- 開かれた質問(「はい」「いいえ」では答えられない質問)からはじまりましたか？
- 全員に発言の機会がありましたか？
- あなたは言いたいことを十分に話せましたか？
- あなたやあなたの家族の発言が無視されることはありませんでしたか？
- あなたやあなたの家族が叱られたり、批判されたりしたように感じたことはありませんでしたか？
- 治療スタッフ側の意見を押しつけられたり、説得されたりはしませんでしたか？
- 誰か人の意見ばかりが通るようなことはありませんでしたか？
- いろいろな意見が引き出されましたか？
- あなた方の目の前で、治療者どうしの話し合い(リフレクティング)がなされましたか？
- リフレクティングで話されたことは、あなたにとって役に立ちましたか？
- スタッフは、あなたの話したことに十分に共感してくれましたか？
- 大切な決定はすべて、あなたの目の前でなされましたか？
- ミーティングの雰囲気は、安全で安心できるものでしたか？
- ミーティングの「後味」は良いものでしたか？

オープンダイアログ研修会の風景



竹内冬彦・桂子ご夫妻



県福祉課の木下朋子
副主幹から
初めのご挨拶



60人ほどの参加者

【オープンダイアログ アンケートから抜粋】

- この研修会については、5年ほど前に新聞で見かけて以来気になっていたもので、お話が聞けて大変勉強になりました。「透明性、大丈夫だと思ってもらう。会話と対話のバランス。瞬間全てがオーダーメイド。ゆっくりでいい。展開に意図を持たない。」など印象的でした。
- オープンダイアログについて学べてよかった。他者の他者性を承認し尊重する。「話してもOK」状態を作る。本人のいない所で本人の事を決めない。
隣の方と語り手と聴き手にわかれて対話をする時間があり、いい経験でした。
『忘れられた日本人(宮本常一)』を読んでもみます。
- リフレクティングは、一対一より、本人の気づきを生みやすいことを知りました。
一対一だと、こちらはフラットな関係のつもりでも、相手からは、アドバイスや助言を求められてしまいがち。さらにこの方法について学んでいきたい。
- 2～3人で聴き手、話し手になるワークで、あらためて、話を聴き切ることを意識する機会になりました。社会福祉に関わる行政の方に家族会に参加していただいて、生の親御さんの話を聞いていた
だきたいと思った。
斎藤環先生のお話を企画してもらいたいです。研修としては、とりとめがなかった。
- 今日、ご夫妻の「こっちが変わらないといけない」との言葉、そうですね、柔らかい自分で居たいと思いました。
- ひきこもりサポーター研修会でのもやもやもや～が晴れるような会でした。
「聞くことが大切、支援してやろうとしない」とサポーター研修会で学んだが、もどかしい気持ちで居ました。でも、この気持ちは、今日の研修でのポイント、本人のいない所で本人の事をきめない。答えのない状況に耐える…に対応していないことが分かりました。
- オープンダイアログのセッションを実際にみせていただくと、さらに理解が深まったかなーと思いました。講師の方たちのオープンな姿勢は、とても好感がもてました。さらに学びたい。
- オープンダイアログの基本を理解していなかったもので、話の分からない所があった。
最初に見せてもらったNHK厚生文化事業団の作った「オープンダイアログ」のDVDは、いい。

〒880-0944

宮崎市江南4丁目9-9 植田方

電話: 090(9603)8780 植田

ひきこもりの子を持つ親の会

「宮崎県楠の会」

NPO法人 KHJ全国ひきこもり
家族会連合会「みやざき楠の会」ニュース会員約110名
援助会員約80名ホームページは
宮崎県「楠の会」で 検索

相談、家庭訪問

◆相談電話《無料》

面談の方はあらかじめ植田までご予約ください。
※緊急の場合はいつでもご相談ください。

◆「宮崎県楠の会」若者就労支援 (賃金あり)

- ・イオン アイカルチャーの清掃
- ・郵送作業 ・食品配布の手伝い
- ・宮崎市の公園清掃

担当 佐川さん

【ひきこもりの相談を受けたい方 受付中!】

宮崎臨床心理士会の先生方が、楠の会の会員に向けて、相談会を開催してくださっています。家族の事情、ご自身の生きづらさなど聴いていただくことで、心が軽くなります。ご希望の方は、植田までご連絡ください。



みっちゃん



2025年8月の計画

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4 公園清掃	5	6	7 公園清掃	8	9
10 イオン清掃	11 山の日 公園清掃	12	13	14 公園清掃	15	16 日南例会 若者居場所 食品配布
17 食品配布 宮崎例会 小林例会	18 公園清掃	19	20	21 公園清掃	22	23 日南 結の会
24イオン 清掃 31	25 公園清掃	26 郵送作業	27	28 公園清掃	29	30

フードバンクみやざき
からの食品配布日

◆ 8月17日(日)

◆ 8月16日(土)
「つなぐ」エデュコラボ
(若者居場所)

郵送作業

8/26
(火)10時~11時半
市民プラザ3階※簡単な作業です。
お手伝いのご協力よろしく
お願いします。
※当事者の方には
謝礼あります。